

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】令和 1 年 8 月 8 日 (2019.8.8)

【公表番号】特表 2018-527649 (P2018-527649A)
 【公表日】平成 30 年 9 月 20 日 (2018.9.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-036
 【出願番号】特願 2017-567724 (P2017-567724)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 19/00 (2011.01)

G 0 6 F 3/01 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 T 19/00 6 0 0

G 0 6 F 3/01 5 7 0

【手続補正書】
 【提出日】令和 1 年 6 月 28 日 (2019.6.28)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

仮想画像生成システムを動作させる方法であって、前記方法は、
エンドユーザが 3 次元場面内に着目オブジェクトを可視化することを可能にすることと

、
テキスト領域を前記ユーザの視野内に空間的に関連付けることであって、前記テキスト
領域は、前記着目オブジェクトと空間的に関連付けられる、ことと、

前記着目オブジェクトと関連付けられたジェスチャ基準を生成することと、

前記着目オブジェクトの少なくとも 1 つ特性を識別するテキストメッセージを生成する
ことと、

前記テキストメッセージを前記テキスト領域内でストリーミングすることと、

前記ジェスチャ基準の複数の異なる領域に対して前記エンドユーザの解剖学的部分の角
度位置を検出することによって、前記エンドユーザからのジェスチャコマンドを感知する
ことと、

前記感知されたジェスチャコマンドに応答して前記テキストメッセージのストリーミ
ングを制御することと

を含み、

前記ジェスチャ基準は、前記着目オブジェクトを包囲する環状リングであり、

前記環状リングの第 1 の側は、前記異なる領域のうちの 1 つを形成し、前記環状リング
の第 1 の側の反対方向の前記環状リングの第 2 の側は、前記異なる領域のうちの別の 1 つ
を形成する、方法。

【請求項 2】

前記ジェスチャ基準を前記着目オブジェクトに隣接するジェスチャ基準オブジェクトと
して表示することをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記エンドユーザの前記解剖学的部分は、前記エンドユーザの頭部である、請求項 1 に
記載の方法。

【請求項 4】

前記エンドユーザの前記解剖学的部分は、前記エンドユーザの指または手である、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記ジェスチャ基準は、前記着目オブジェクトと別個であり、異なる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記環状リングは、複数の同心リングを備え、前記同心リングのうちの隣接する 2 つの間の境界面は、前記異なる領域のうちの 1 つを形成する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記環状リングの内側または外側縁は、前記異なる領域のうちの別の 1 つを形成する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記ジェスチャ基準は、前記着目オブジェクトである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記テキストメッセージのストリーミングは、前記エンドユーザの前記解剖学的部分が前記ジェスチャ基準の 1 つの領域に向けられると前記テキストメッセージのストリーミングを開始し、前記エンドユーザの前記解剖学的部分が前記ジェスチャ基準の別の異なる領域に向けられると前記テキストメッセージのストリーミングを終了することによって、前記感知されたジェスチャコマンドに応答して制御される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記テキストメッセージのストリーミングは、前記エンドユーザの前記解剖学的部分が前記ジェスチャ基準の 1 つの領域に向けられると前記テキストメッセージの少なくとも 1 つの単語を表示し、前記エンドユーザの前記解剖学的部分が前記ジェスチャ基準の別の異なる領域に向けられると前記テキストメッセージの少なくとも別の単語を表示することによって、前記感知されたジェスチャコマンドに応答して制御される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 11】

前記ジェスチャコマンドは、前記エンドユーザの前記解剖学的部分が前記ジェスチャ基準を横断して走査させられるにつれて、前記エンドユーザから感知される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

1 つ以上のセンサは、前記エンドユーザの前記解剖学的部分が前記ジェスチャ基準を横断して走査させられるにつれて、前記エンドユーザからの前記ジェスチャコマンドを送信するために構成されている、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

エンドユーザによる使用のための仮想画像生成システムであって、前記仮想画像生成システムは、

前記エンドユーザが 3 次元場面内に着目オブジェクトを可視化することを可能にするために構成されているディスプレイシステムと、

制御システムであって、前記制御システムは、

テキスト領域を前記ユーザの視野内に空間的に関連付けることであって、前記テキスト領域は、前記着目オブジェクトと空間的に関連付けられる、ことと、

前記着目オブジェクトと関連付けられたジェスチャ基準を生成することと、

前記着目オブジェクトの少なくとも 1 つ特性を識別するテキストメッセージを生成することと、

前記テキストメッセージを前記テキスト領域内でストリーミングするように前記ディスプレイシステムに命令することと

を行うように構成されている、制御システムと、

前記ジェスチャ基準の複数の異なる領域に対して前記エンドユーザの解剖学的部分の角度位置を検出することによって、前記エンドユーザからのジェスチャコマンドを感知する

ために構成されている 1 つ以上のセンサと

を備え、

前記制御システムは、前記感知されたジェスチャコマンドに応答して前記テキストメッセージのストリーミングを制御するためにさらに構成され、

前記ジェスチャ基準は、前記着目オブジェクトを包囲する環状リングであり、前記環状リングの第 1 の側は、前記異なる領域のうちの 1 つを形成し、前記環状リングの第 1 の側の反対方向の前記環状リングの第 2 の側は、前記異なる領域のうちの別の 1 つを形成する、仮想画像生成システム。

【請求項 1 4】

前記制御システムは、前記ジェスチャ基準を前記着目オブジェクトに隣接するジェスチャ基準オブジェクトとして表示するように前記ディスプレイシステムに命令するためにさらに構成されている、請求項 1 3 に記載の仮想画像生成システム。

【請求項 1 5】

前記エンドユーザの前記解剖学的部分は、前記エンドユーザの頭部である、請求項 1 3 に記載の仮想画像生成システム。

【請求項 1 6】

前記エンドユーザの前記解剖学的部分は、前記エンドユーザの指または手である、請求項 1 5 に記載の仮想画像生成システム。

【請求項 1 7】

前記ジェスチャ基準は、前記着目オブジェクトと別個であり、異なる、請求項 1 3 に記載の仮想画像生成システム。

【請求項 1 8】

前記環状リングは、複数の同心リングを備え、前記同心リングのうちの隣接する 2 つの間の境界面は、前記異なる領域のうちの 1 つを形成する、請求項 1 3 に記載の仮想画像生成システム。

【請求項 1 9】

前記環状リングの内側または外側縁は、前記異なる領域のうちの別の 1 つを形成する、請求項 1 8 に記載の仮想画像生成システム。

【請求項 2 0】

前記ジェスチャ基準は、前記着目オブジェクトである、請求項 1 9 に記載の仮想画像生成システム。

【請求項 2 1】

前記制御システムは、前記エンドユーザの前記解剖学的部分が前記ジェスチャ基準の 1 つの領域に向けられると前記テキストメッセージのストリーミングを開始し、前記エンドユーザの前記解剖学的部分が前記ジェスチャ基準の別の異なる領域に向けられると前記テキストメッセージのストリーミングを終了するように前記ディスプレイシステムに命令することによって、前記感知されたジェスチャコマンドに応答して前記テキストメッセージのストリーミングを制御するために構成されている、請求項 1 3 に記載の仮想画像生成システム。

【請求項 2 2】

前記制御システムは、前記エンドユーザの前記解剖学的部分が前記ジェスチャ基準の 1 つの領域に向けられると前記テキストメッセージの少なくとも 1 つの単語を表示し、前記エンドユーザの前記解剖学的部分が前記ジェスチャ基準の別の異なる領域に向けられると前記テキストメッセージの少なくとも別の単語を表示するように前記ディスプレイシステムに命令することによって、前記感知されたジェスチャコマンドに応答して前記テキストメッセージのストリーミングを制御するために構成されている、請求項 1 3 に記載の仮想画像生成システム。